

大会注意事項

*正規試合後の空コートについて、参加者に限り正規試合終了時まで練習に使用することができます。

本部に申し出てください。

*昨年から変更した内容

1) 男子A級も他種目と同様、予選リーグを行います。

2) 予選リーグにおけるオーダー用紙の提出 (2対戦分) の際、1回目と2回目の出場順位が入れ替わってもOKとします。

- 1、 出場選手は定刻までに来場し本部に届ける。対戦は最低1チーム4名で成立 (DN₃が棄権となる) その日の初戦は定刻まで来場した者、次戦からは本部に届け出て確認後、オーダー交換時に在場の者のみが対戦資格者となる。
- 2、 試合は、全種目ダブルス3の団体戦で行い、
 - ① 男子A・B級および女子A・B級は、リーグ戦(原則3チーム)の各1位チームによる決勝トーナメントを行う。
リーグ戦・決勝トーナメントとも、6ゲーム1セットマッチ(6-6タイブレーク)で行う。
 - ② 試合は全てノーアドバンテージ方式でおこなう。
- 3、 試合前にオーダー票の交換を行い、交換後のメンバー変更は認めない。
試合はダブルスNo.3、ダブルスNo.2、ダブルスNo.1の順序で行い、最低4名(2ダブルス)で成立する。4名で対戦する場合はダブルスNo.3を不戦敗とする。対戦双方が4名で対戦し、試合結果が1-1となった場合は得失ゲーム差により、同数の場合はダブルスNo.1の勝者のチームを勝ちとする。
3チームリーグ戦において、1チーム棄権の場合はスコア0-6とし、出席2チームの1対戦で勝敗を決することとする。ドロー上で最初から2チームの場合はメンバー変更可の2回対戦とし、1対1になった場合、得失ゲーム差で勝敗を決する。同数の場合、NO-1、次にNO-2、NO-3順で決する。未決着の時、代表ペアによるタイブレーク(12P)を行う。
- 4、 同じ選手が1対戦において、2試合重複して出場した場合や、不在の選手をオーダー票に記載した場合や、あるいは登録されていない選手が出場したことが判明した場合は直ちにそのチームを失格とする。
- 5、 試合中、各コートに1名のベンチコーチ(登録メンバーに限る)を置くことが出来る。ベンチコーチはエンドの交代のとき、選手にコーチングすることが出来る。ただし、第一ゲーム後とタイブレーク・ゲーム中のエンド交代のときは出来ない。ベンチコーチ以外のコーチングは一切出来ない。
- 6、 選手はテニスシューズおよびテニスウェアを着用する。(Tシャツの着用は認めない。)ロゴに関しては、テニスルールブック2017による。
- 7、 試合のコールがあれば直ちに指定されたコートで試合に入る。試合前のウォーミングアップはなく、各選手4本ずつのサーブで直ちに試合を開始する。
- 8、 試合は連続して行い、理由なく試合の中断または遅延は認められない。(20秒90秒ルールの厳守。)
- 9、 試合中の事故による怪我等(試合中の事故の結果として起こったもの)によるメディカルタイムアウトは1試合1度だけ3分以内で取る事が出来る。但し、けいれん等体力の消耗によるMTOは取れません。
- 10、 試合球はブリヂストンXT-8(黄)。1対戦あたり6個で行い、使用済球は敗者チームの取りきりとする。
- 11、 スtringスの切れたラケットで新しいポイントをプレーすることは出来ない。
- 12、 審判は対戦チーム双方で話し合いSCUまたはセルフジャッジ方式で行なう。
- 13、 勝利チームの監督は試合終了挨拶後直ちに記入されたスコア用紙を本部に提出する。
- 14、 大会運営上、勝敗の決定した後の第3試合を中止することがある。
- 15、 雨天の場合、選手は天候の如何にかかわらず指定会場に来場し、主催者による今後の指示(定刻の変更、日程および会場の変更)を確認する。

- 16、 大会中または試合中に疑義が生じた場合は、ロービングアンパイアを通じてレフェリーに問い合わせる。
レフェリーは日本テニス協会テニスルールブック 2017 に基づき裁定する。

以 上